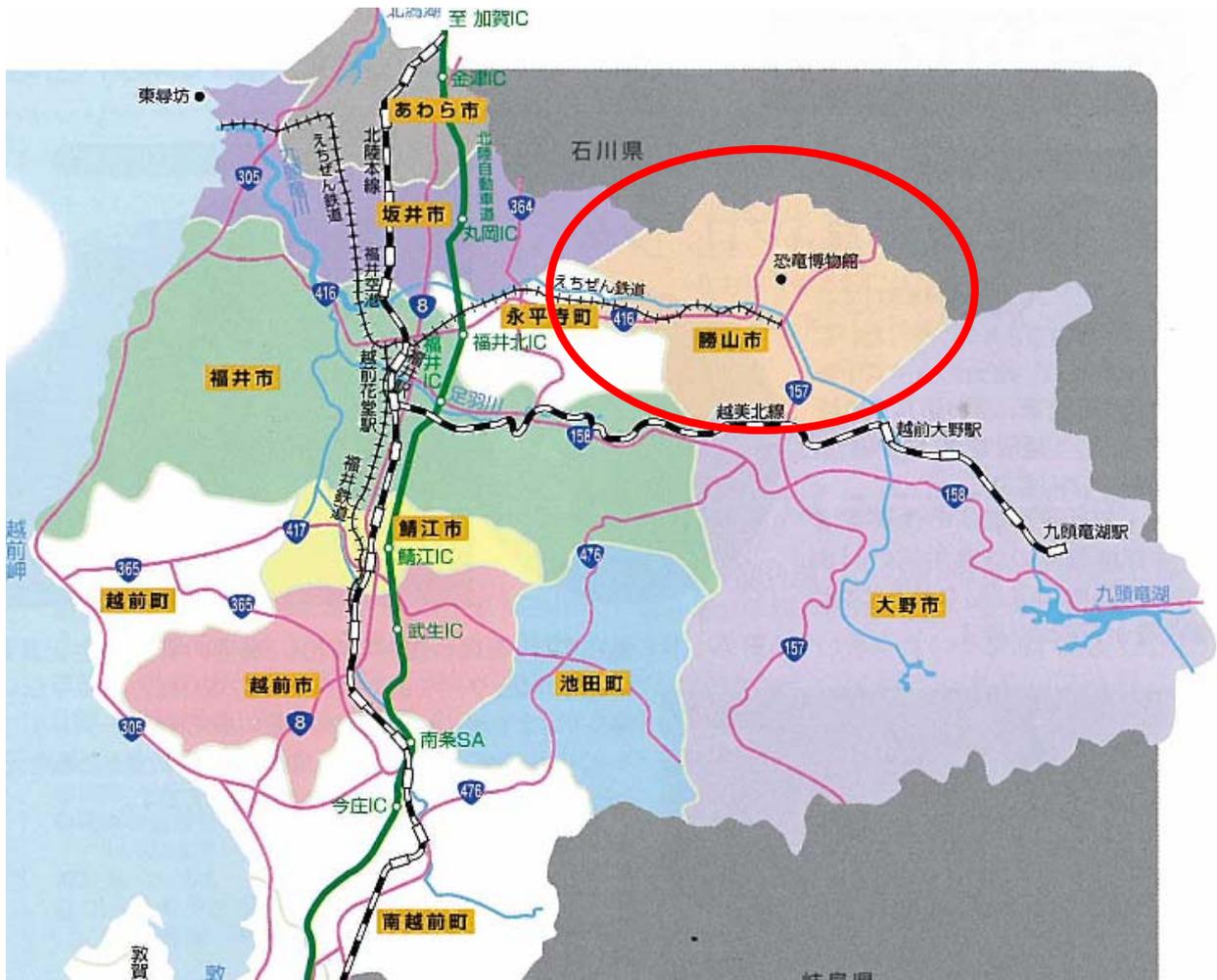


勝山市 報告書



活動先：勝山市 ラブリー牧場

勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約 28 キロメートルの地点にあり、東南は大野市に、西南は福井市、北西に坂井市、吉田郡永平寺町、北は石川県に隣接しています。また、市の周辺は 1,000 メートル級の山々に囲まれ、中心部は県下最大の河川である九頭竜川の中流域に位置しています。

市街地は九頭竜川の流れに沿って形成された河岸段丘に位置しており、明治以来の地場産業である繊維産業を中心とした商工業や、古くから盛んな農林業を基幹産業とする水と緑の豊かな田園都市です。

活動内容：ジャージー牛のお世話（放牧の補助・糞だし・えさやり・乳搾り）

ボランティア募集の背景：後継者不足

宿泊場所：コテージ・空き家

食事のみ牧場の研修生の方々とともに、自炊



9月14日(月)

- ・ 放牧されていた牛を牛舎に戻す
- ・ 牛の餌やり
- ・ 子牛の餌やり・水補充
- ・ 鶏の卵とり
- ・ 鶏とひよこに餌をあげる
- ・ 離れた若牛に餌をあげに行く
- ・ 糞だし
- ・ 餌の配合
- ・ 畑の草取り
- ・ 草むしり
- ・ 栗拾い
- ・ とうもろこしをむく
- ・ いのししの農設置
- ・ 牧場主さんのお話を聴く







<9月14日(月) 学生の日誌より>

- ・ 牛が以外にでかかった。
- ・ 牛のほかにもいろいろ動物がいた。
- ・ オス牛は食べられる。
- ・ 牧場主さんの経験談は、すごく新鮮で農業や経済、会社のしくみなど普段聞けない話が聞けて良かった。
- ・ すごくこの牧場では自給自足を大切にしている。
- ・ 最初の牛の放牧の手伝いの時、牛の扱いが上手って言われて、今まで農家の仕事やってた？みたいな事を聞かれたこと。全くさわったことなかった。
- ・ 牧場にはハエがたくさんいた。
- ・ 牛を放牧するのが面白かった。
- ・ 牧場主さんは、熱い思いをもって牧場をしていることがわかった。
- ・ もっと、私たちだからこそできることをしたいと思った。例えば、牧場のそうじ！！

9月15日(火)

- ・ 子牛のミルクやり
- ・ 牛の餌やり
- ・ にわとり・ひよこの餌やり
- ・ 糞だし
- ・ 牛舎の掃除
- ・ 牛の毛づくろい
- ・ 牛の殺菌
- ・ 放牧
- ・ 窓拭き
- ・ パイプ拭き
- ・ くもの巣とり
- ・ しぼったミルクをタンクに入れる
- ・ 牛舎2階の掃除
- ・ 野菜の収穫
- ・ 牧場主さんと卓球
- ・ ミーティング







<9月15日(火) 学生の日誌より>

- 牛に足を踏まれた。痛かった！！
- オス牛は放牧にも連れていってもらえない。
- 牛舎は、一週間でくもの巣や牛糞だらけになるので、掃除が大変。
- 牛は人間が食べれないもの（山の草とか残飯とか）を食べて、人間でも飲める牛乳を作ってくれるすごい生き物！！
- 牛にも性格があって、表情豊か。人間性がある。
- 放牧の時、牛のナナがなかなか皆のところに行かなかった時、従業員の方が「友達いないから」って言っていたのがおもしろかった。牛の中にも人間関係みたいなものがあるんだなと思った。
- 犬に癒される。
- 牛の毛づくろいがとても良かったです。

9月16日(水)

- ・ 犬の散歩
- ・ 作業靴を洗う
- ・ 県立恐竜博物館の散策





<9月16日(水) 学生の日誌より>

- ・ 勝山市は、恐竜の化石が日本で一番発見されていることにおどろきました。
- ・ 最後まで役に立とうと思ったけど、皆さんの好意で楽しく過ごさせてもらった。ちょっと申し訳なかった。
- ・ 新鮮な野菜はおいしかった。
- ・ 牛も甘えてくるということ、すごくかわいかったです。
- ・ また、軽トラのうしろに乗って恐竜博物館をまわった。

この3日間を一言で

- ・ ひと皮むけた。
- ・ いい経験ができた。
- ・ 本当に自分の糧になりました。
- ・ 最高
- ・ 発見